

広島港の韓国向けコンテナ定期航路（高麗海運）の減便について

1 要旨・目的

広島港において、高麗海運（韓国）が運航する韓国向けコンテナ航路（週2便）が、10月2日から週1便に減便されることとなった。

これにより、広島港における韓国向けコンテナ航路は週8便から週7便へ減便となる。

2 現状・背景

高麗海運は、平成7年（1995年）4月から広島港において韓国航路を開設し、釜山、蔚山向けなどのサービスを提供している。

この度、同社における航路の最適化を図るための見直しが行われる中で、広島港では、3社（南星海運、天敬海運、高麗海運）で共同運航する既存の航路があることに加え、本年4月の航路改編により高麗海運が運航する船舶が大型化されたことから、減便による影響を生じさせることなく貨物の輸送が可能であると判断されたもの。

3 概要

(1) 航路改編の概要

【変更前：週2便・最大積載量 1,445TEU】

曜日	最大積載量	寄 港 地
木	342TEU	釜山(水)－ <u>広島(木)</u> －伊予三島(金)－松山(土)－釜山(日)－長崎(月)－熊本(火)－八代(火)－薩摩川内(水)－細島(木)－釜山(金/土)－門司(日)－志布志(月)－薩摩川内(火)－釜山(水) ※2隻で隔週運航
水	1,103TEU	蔚山(金/土)－釜山(日)－大阪(月)－神戸(月)－水島(火)－ <u>福山(火)</u> － <u>広島(水)</u> －大分(木)－蔚山(金/土)

減便



【変更後：週1便・最大積載量 1,103TEU】

曜日	最大積載量	寄 港 地
水	1,103TEU	蔚山(金/土)－釜山(日)－大阪(月)－神戸(月)－水島(火)－ <u>福山(火)</u> － <u>広島(水)</u> －大分(木)－蔚山(金/土)

※上記航路に加え、3社（南星海運、天敬海運、高麗海運）で共同運航する航路あり（週1便（土曜）、最大積載量 1,003TEU）

(2) 今後の対応

今回の航路改編に伴う影響や高麗海運を含めた韓国船社における今後の航路改編の動きについて注視するとともに、引き続き、広島港におけるコンテナ航路の維持・拡充に努める。

(参考)

